



学びの虹

東京都立鹿本学園 学校通信 令和6年11月28日号

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

虹輝祭 ありがとうございました

今年度は、放課後等デイサービス事業所等、子供たちの成長に関わってくださる関係諸機関や卒業生も見学・観劇していただきました。

保護者を含め、来校者が2日間延べ480名となり、大賑わいでした。舞台発表の学年や展示発表の学年等、多様な形での参加ですが、子供たちの舞台及び作品等での発表は実にほほえましいものから力強さあふれるものまであり、十分楽しめました。「学校全体が輝いた」2日間だったと思います。児童・生徒の皆さんよく頑張りました。お疲れ様でした。

次年度の教育課程（進捗状況）

次年度、教育課程（時間割）の変更があります。学校は、これまでも、時間割の変更をしたかったのですが、やっと実現の運びとなりました。令和7年4月以降、どのように変更するかを説明します。小学部1年・中学部の例にとって話をします。

※標準授業時数とは 標準授業時数とは学校教育法施行規則にて学年ごとに定められた「**1年間で必要な授業時間数**」です。小学部1年は**850時間**、中学部では**1,015時間**です。

※総授業時数とは 学校で**1年間授業した時間の合計**のことを指します。

★標準授業時数より大幅に超過している問題

令和5年9月8日付文部科学省の通知の【各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し等】の中で、「**全ての学校において総授業時数を点検し、標準授業時数を大幅に上回っている学校は令和6年度以降見直しを求める**」旨の内容がありました。東京都教育委員会からは、令和6年10月23日に令和7年度の教育課程について「**標準授業時数を目指して、週当たりの時間数（時間割）を編成すること**」等の方針が出されました。なお**本校は、全ての学年に**

おいて「標準授業時数より大幅に上回っている」と1学期に指摘されております。

★教育課程の変更案：以下のとおりです。

- ①全学年一律、週当たりの授業時数を1時間減らします。
- ②下校時間も最大10分繰り上がります（予定）。
- ③水曜日は1.5便（14時50分）※それでも「標準授業時数」を超えてしまいますので、これまでどおり短縮授業日も設定させていただきます。

※今回は、スクールバスの複数年度契約もあり、水曜日の1便が難しかったこともあるので、2～3年後に再度教育課程（時間割）の見直しがある可能性もあります。

【令和7年度時間割 令和7年4月～】					
	月	火	水	木	金
小1	1便	※1便	※全校 1.5便 14時 50分	1便	1便
小2	1便	※1便		1便	1便
小3	1便	2便		※1便	1便
小4	1便	2便		2便	※1便
小5	1便	2便		2便	※1便
小6	1便	2便		2便	※1便
中学部	2便	2便	2便	2便	2便
高等部	2便	2便	2便	2便	2便

注意：東京都教育委員会へ相談している時間割です。

1便：全校14：00 2便：全校15：40予定（SN共通）

12月11日（水）全校保護者会の全体会において、教育課程と仮設校舎等を中心に話をします。よろしくお願ひします。また、翌週17日には放課後等デイサービス事業所への説明や子供たちが利用している関係諸機関や就学前施設等にも丁寧説明してまいります。

鹿本学園校長 堀江 浩子

～ICT機器を活用した取り組みについて～

<1人1台端末を活用した学習>

デジタル化した絵本を読んだり、漢字検定に向けてアプリケーションで学習を進めたりと個に応じた活用をしています。また、音楽の授業で伴奏に合わせて画面のアイコンをタップすることで一緒にメロディを演奏するなど、集団での学習にも活用しています。

<電子黒板とプログラミングソフト Scratch(スクラッチ)の併用>

モニタに直接触れて操作ができる電子黒板と、学習のねらいに合わせて様々なプログラムを作成できるScratchを組み合わせ、画面を直接操作しながら学習を進めることができるようになりました。画面に触れるワクワク感や結果が分かりやすいことによる達成感が子供たちから伝わってきました。

<Teamsを活用した他校とのデジタル共同学習>

Teamsのオンライン機能を活用して、他校の児童・生徒との学習を実施しました。自己紹介や外国語活動、道徳教育、理科の実験などを普段よりも多い人数で、和気あいあいとした雰囲気の中、活発なやりとりを進められました。

情報メディア部 ICT担当：吉松聡

